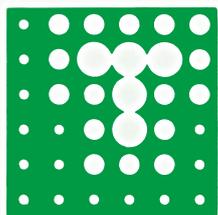


すぐ効く、よく効く、ながく効く！

殺虫剤

農林水産省登録
第16756号



トレボン[®] 粉剤DL

有効成分：エトフェプロックス・・・0.5% [殺虫剤分類：3A] トレボンは三井化学アグロ株式会社の登録商標です

稲のウンカ類、カメムシ類、コブノメイガや豆類のマメシクイガやハスモンヨトウ等のチョウ目害虫、アブラムシ類、フタスジヒメハムシ等、多くの害虫に対して優れた速効性と残効性を示します。

稲、小麦、豆類(種実)、えだまめ、やまのいも、さといも、ばれいしょ、かんしょ、とうもろこし



トマト、きゅうり、なす、オクラ、すいか、キャベツ、はくさい、だいこん、れんこんに登録があります。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
- 容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。



サンケイ化学株式会社

東京本社
東京営業部
大阪営業所

〒110-0005 東京都台東区上野7丁目6-11 第一下谷ビル3F
〒366-0032 埼玉県深谷市幡羅町1丁目13-1
〒532-0011 大阪市淀川区西中島2丁目14-6 新大阪第2ドイビル3F

TEL.03-3845-7951
TEL.048-551-2122
TEL.06-6305-5871

トレボン[®] 粉剤 DL

トレボンは三井化学アグロ株式会社の登録商標です

殺虫剤
 エトフェンプロックス粉剤
 毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）
 包装：3kg×8

適用病害虫名および使用方法

2021年10月30日現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	10アール当り 使用量	使用時期	使用方法	本剤の 使用回数	エトフェンプロックスを 含む農薬の総使用回数			
稲	イネツトムシ	4kg	収穫7日前まで	散布	3回以内	3回以内			
	カメムシ類、ウンカ類、イナゴ類 イネミズゾウムシ成虫 ツマグロヨコバイ、コブノメイガ アザミウマ類、イネドロオイムシ ニカメイチュウ	3~4kg							
	イネヒメハモグリバエ フタオビコヤガ	3kg							
小麦	ヒメトビウンカ、アブラムシ類	4kg	収穫14日前まで		2回以内	2回以内			
豆類 (種実)	マメシクイガ、ハスモンヨトウ シロイチモジマダラメイガ カメムシ類、フタスジヒメハムシ ダイズサヤタマバエ アブラムシ類、アズキノメイガ								
えだまめ	ハスモンヨトウ	3~4kg	収穫14日前まで		3回以内	3回以内			
	マメシクイガ、カメムシ類 シロイチモジマダラメイガ フタスジヒメハムシ ダイズサヤタマバエ	4kg							
やまのいも	シロイチモジヨトウ		4kg		収穫7日前まで	4回以内	4回以内		
さといも	ハスモンヨトウ								
ばれいしょ	テントウムシダマシ類								
かんしょ	ハスモンヨトウ、ナガシロシタバ								
とうもろこし	アワノメイガ								
すいか	ハスモンヨトウ、ウリハムシ								
きゅうり	ウリハムシ	3~4kg	収穫前日まで	3回以内	3回以内				
なす	テントウムシダマシ類	4kg							
オクラ	アブラムシ類								
トマト	コナジラミ類	3~4kg	収穫3日前まで	2回以内	2回以内				
キャベツ	ハスモンヨトウ、アブラムシ類 アオムシ					4kg			
	はくさい						アオムシ コナガ		
だいこん	アオムシ					3~4kg	収穫21日前まで	3回以内	3回以内
	れんこん					ダイコンサルハムシ			
水田作物 畑作物(休耕田)*	カメムシ類					3~4kg	—		

*：ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田

⚠ 使用上の注意事項

- ①本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ見かけ比重がやや大きく、流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しぼって散布してください。
- ②蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- ③散布器具、作業衣などは桑用と必ず区別してください。
- ④イネミズゾウムシ成虫に使用する場合、移動範囲が広いのでなるべく広域でいっせいに防除し、畦畔などの周辺雑草にも散布してください。
- ⑤ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - (1)ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - (2)関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合には、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- ⑥本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、描画中防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠ 安全使用上の注意事項

- ①誤飲などのないように注意してください。
- ②本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- ③散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- ④作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。

⚠ 水産動植物に係る注意事項

- ①水産動植物(甲殻類、冷水魚)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください。養殖池等周辺での使用はさけてください。
- ②散布後は水管理に注意してください。
- ③散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。